

平成23年度事後評価総括表

区分	事業番号	事業名	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	最終事業費	着工完了	評価ランク						部意見	政策評価課意見	部(課)の取組み方針		
								効果の発現	自然環境の変化	維持管理状況	住民の評価	改善措置の必要性	地域社会への貢献状況			今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等	部	課
災害防止	1	地すべり対策	阿南町	ひらく 平久	承排水路工 L=2,243m 横孔ボーリング工 L=1,392m 土止工 133m えん堤工 5基	2億4340万円	H8 H17	A	A	S	A	A	B	保全対象地域での地すべりは発生しておらず、防災効果が発揮されている。	地すべりの活動が沈静化し、一定の効果が認められる。	地すべり防止施設の軽微な維持管理は、地域住民との連携により実施し、施設の機能を保持するとともに、農地を含めた地域の保全を図ることとする。また、アンケートにあった水路の老朽化による漏水等は、昭和40～50年代頃実施した箇所であり、水抜きボーリング孔の洗浄や排水路の補修等は、今後も定期的にも実施する必要がある。	農政部	農地整備課
	3	農営ため池等整備	長野市	うたがひのおおいけ 有旅大池	堤体工 L=83m 取水施設工 2箇所 余水吐工 1箇所	8400万円	H14 H17	A	A	A	A	B	-	ため池決壊の危険がなくなり、かつ用水の安定供給ができ、所期の目的が達成された。また、周辺環境への影響もほとんど無く、事業効果が十分に発揮されている。	農業用水の安定供給と災害の未然防止が図られ、事業の目的を達成している。	農業用水の安定確保は基より、災害を未然に防止する目的から、地域住民の評価は非常に高い。引き続き、農業面での安心安全に加え、農業用水以外の多面的機能や自然環境などに配慮した計画策定により、地域住民に親しまれる施設となるような事業推進を図っていききたい。当時の事業制度では、ため池下流水路の整備までは本事業では対応できなかったが、平成18年の豪雨災害等を契機に対応できる制度も創出されている。アンケートの中には、当時、低入札の後に倒産した施工業者に触れ、入札制度の改善に言及する意見もいくつかあった。		
	4	山地治山	佐久穂町	こや 古谷	谷止工 5個 床固工 7個 山腹工 1.11ha 土留工 18個 他	3億2427万6千円	H14 H17	A	A	A	A	A	-	崩壊地の復旧、森林整備等を実施したことにより、地域の安全・安心の確保ができた。	山腹崩壊地や荒廃溪流が安定し、一定の効果が認められる。	今後、計画にあたっては、より一層防災機能の向上を図られるよう、施設整備と森林整備の一体的な計画とするとともに、地域住民への確かな情報提供を行うなど、計画の進め方、説明方法について工夫する必要がある。	林務部	森林づくり推進課
	6	地すべり防止	山ノ内町	あらみさわ 乙見沢	山腹工 3.00ha 鋼管杭 38本 集水ボーリング工 885m 水路工 88m 伏工 2,049㎡	2億2232万8千円	H13 H17	A	B	A	A	A	-	事業実施後、降雨・融雪期にも地すべり被害の発生はなく、地域の安全・安心が図られている。	地すべりの活動が沈静化し、一定の効果が認められる。	今後、状況に応じて地すべりの挙動を監視するとともに、必要に応じてボーリング暗渠工の洗浄等、適切な維持管理を行い、地すべり防止工事の効果を持続させていく必要がある。また、異変が生じた際、早期の情報収集を図るため、地域との連携を密にしていく必要がある。		
	8	砂防	坂城町	ふくさわがわ 福沢川 うわだいら 上平	上平1号堰堤(権現沢) H=8.0m L=50.0m V=1,550m ³ 上平2号堰堤(福沢川) H=12.0m L=46.3m V=2,440m ³	4億80万円	H10 H17	A	B	A	B	A	-	「税金の使途として適切」及び「地域を守る重要な事業」と評価を受けている。保全対象は村上保育園など災害時要援護者施設があり、安全確保に貢献している。	土石流に対する安全性の向上が図られ、一定の効果が認められる。	当該事業を知らない方が多く、事業のPRは不十分であったと思われるので、県民の多くに知っていただくため、事業PRを広く行う必要がある。事業計画の段階で、地域と連携し事業を進めていく必要がある。		
11	地すべり対策	長野市	やまざわ 矢沢	集排水ボーリング工 L=3,575m 集水井工 3基 水路工(開渠・明暗渠) L=588.4m	2億8527万円	H9 H17	A	A	S	A	A	B	当該事業の実施により、地すべり活動が沈静化した。地域住民の意見からも、当該事業の実施に対する評価は高いものであり、事業効果は十分発現されている。	地すべり活動が沈静化し、一定の効果が認められる。	施設管理者として維持管理と更新について方針を示し、地区住民と協同していく体制づくりが必要である。また、地すべり対策事業に関してのアンケート結果傾向として、7割以上の方が必要・納得・重要な事業として肯定的評価、1～2割の方が判らない評価、否定的評価が僅かであった。アンケート結果での事業説明を求め意見及び判らない評価に対して、積極的な説明・PRを行い曖昧な評価を減らすことに務め、評価の精度を高め活かすことが重要である。(問13,14)	建設部	砂防課	

平成23年度事後評価総括表

区分	事業番号	事業名	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	最終事業費	着工完了	評価ランク						部意見	政策評価課意見	部(課)の取組み方針		
								効果の発現	自然環境の変化	維持管理状況	住民の評価	改善措置の必要性	地域社会への貢献状況			今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等	部	課
災害防止	14	急傾斜地崩壊対策等	安曇野市	あづむ 尾沢	切土補強土壁工 L=151m 落石防護柵工 L=151m 編柵工 L=150m×8段 土堤 H=2.0m L=55m	2億1830万円	H14 H17	A	B	B	A	A	B	人家を保全するための対策工事として地域住民に理解されており、アンケート結果からも必要性等の事業効果は高い。	事業完了後は斜面の変状は無く、一定の効果が認められる。	当箇所は、地域住民が事業の必要性や重要性を認識し、高い評価を得ているが、維持管理に関する意見要望もある。事業着手時に工事完成後の維持管理などを住民に十分に説明を行い、地域と連携して事業を進めていくことで満足度の高い公共事業としていく必要がある。	建設部	砂防課
	30	道路災害防除	上田市	あづま (主)真田東部線 真田橋下～ 炭焼場上	法面对策工 6箇所 L=559m W=6.5(8.0)m	1億6008万8千円	H17 H19	A	A	A	B	A	-	アンケートの結果から地域の評価も高く、安全・安心な道路が確保され、事業効果は高い。	道路の安全性の向上が図られ、一定の効果が認められる。	当該道路における事業実施中はプレスリールの実施などアピールする必要がある。事後評価より事前評価を充実させてほしいとの住民意見があり、今後の検討が必要である。事業実施を知らない人へのアンケートは無意味との指摘もあり、初期の質問でアンケート終了をするような内容とする必要がある。		道路管理課
森林	34	水源地域等保安林整備	岡谷市	はちがせやま 鉢伏山	谷止工 1個 床固工 11個 護岸工 304m 森林整備123.39ha	2億4045万4千円	H13 H17	A	S	A	A	A	-	荒廃渓流の安定を図るとともに、崩壊地の復旧や森林整備を実施したことにより水源林の機能の向上と下流域の安全・安心の確保が図られた。	荒廃地の復旧や森林整備により、水土保全機能の向上が図られ、事業の目的を達成している。	アンケートの結果、住民の認知度、満足度が低いことなどから、事業の実施に関して、受益者である地域住民へのPRの強化が必要である。	林務部	森林づくり推進課
	35	防災林整備	松本市	ほんごう 本郷	森林整備 15.93ha (地拵・改植) 簡易治山施設 5箇所 (丸太土留工・丸太水路工・丸太筋工・伏工)	9174万2千円	H15 H17	A	A	S	A	A	-	地域住民とボランティア等の協働による森林整備の実施により、植生が回復し、林地の復旧が進んでおり、土砂流出の防止と下流域の安全・安心の確保が図られた。	山火事跡地の復旧が図られ、一定の効果が認められる。	森林の復旧状況、木製簡易治山施設の腐朽状況等の監視及び状況に応じた森林の保育、施設補修等を適切に実施する必要がある。今後の保育・維持管理、特に異変が生じたときの情報収集・伝達手段について、地域との協働を図れるよう、連携を密にしていかなければならない。		
交通	38	道路改築	阿南町	(国)151号 落合～ 新野バイパス	道路築造工 L=7,614m W=6.5(9.0)m (内トンネル3本、橋梁18橋)	157億5100万円	S49 H17	S	B	S	A	A	A	幅員狭小、線形不良が解消され、円滑な交通と安全性の確保により、事業目的を達成しており、事業効果が高いと判断される。	交通の円滑化と安全性が確保され、事業の目的を達成している。また、地域活性化の貢献度が高い。	当該事業により、落合から新野間の安全な交通ルートが完成し、物流や地域交流が盛んとなった。今後は、残る未改良区間である新野峠区間の整備促進を図ってきたい。また、今後も国道の維持管理を地元住民とともに実施していく体制、環境づくりが必要である。	道路建設課	
	41	雪寒対策道路	小谷村	かわじりあたり (一)川尻小谷 いといがわせん 糸魚川線 やまづみ 山住	道路築造工 L=560m (内トンネル401m) W=6.0(8.0)m	11億4200万円	H16 H19	A	B	A	A	B	-	アンケートの結果から地域の評価は高く、事業効果は高い。	施工区間における交通の安全確保が図られ、事業の目的を達成している。	地域住民及び道路利用者の意見・要望等を計画段階の早期に確認し、利便性・安全性の向上が一層図られるよう引き続き雪寒対策に努める。	建設部	道路管理課
	43	街路	伊那市	かんじょうきたせん 環状北線 みその 御園	道路築造工 L=896m W=14.0(28.0)m	51億9950万円	H10 H19	A	B	S	A	B	B	当街路事業により、伊那市街地の渋滞を緩和させることができ、当初の目的は達成できた。	歩行者の安全確保と交通の円滑化が図られ、事業目的を達成している。	計画区間の改良清現道への擦り付け方法、関連する市道の改良要望が多い。今後同種事業を進めるに当たっては、関連する事業との調整、市町村へ協力取り付けなど十分な準備が必要である。	都市計画課	

平成23年度事後評価総括表

区分	事業番号	事業名	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	最終事業費	着工完了	評価ランク						部意見	政策評価課意見	部(課)の取組み方針		
								効果の発現	自然環境の変化	維持管理状況	住民の評価	改善措置の必要性	地域社会への貢献状況			今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等	部	課
交通	44	交通安全施設等整備	松本市	(主)松本塩尻線 神田	歩道設置工 L=403m W=2.5m	3億4000万円	H15 H19	A	A	A	A	B	-	通学路の安全が確保され、地域の評価も高く、事業効果は高いと判断される。	歩行者の安全及び円滑な交通が確保され、事業の目的を達成している。	今回の工事だけでも地域住民からは評価されているが、北側の薄川までの整備、あるいは両側歩道の整備等さらなる改良が望まれている。 アンケート調査にも意見が寄せられたように、維持管理は、地元理解を得て地域と連携して取り組む必要がある。 歩道内の電柱設置については、民地に設置するよう引き続き取り組んでいきたい。	建設部	道路管理課
	46	沿道環境改善	佐久市	(国)254号 中込 - 野沢	低騒音舗装工 L=1,300m W=13.0m A=18,200㎡	1億500万円	H19 H21	A	A	A	A	A	-	騒音等の沿道環境が改善され、事業の目的は達成されたが、コストや維持管理費が通常の舗装と比較して割高であることから、今後もより効果的な箇所の選定を検討していきたい。	騒音等の沿道環境が改善され、事業の目的を達成している。	事業実施前と実施後の騒音データを公表するなど、事業効果に係るアピールをする必要がある。		
食料	49	県営かんがい排水	大町市	越荒沢堰	親水路 L=2,051m 調整池 1ヶ所	5億8000万円	H10 H17	A	A	S	B	A	A	自然環境にも配慮した整備内容となっており、地域用水機能が発揮されている。	農業用水や地域用水の安定供給が図られ、事業の目的を達成している。	農業用水の他に、融雪用水、防火用水など生活用水としても昔から利用されていることや、大町の自然環境に配慮した整備内容について、毎年開催しているイベントなどで更にPRする必要がある。	農政部	農地整備課
	52	経営体育成基盤整備	筑北村 (旧本城村、坂北村)	本城	暗渠排水 3.2ha 用水路 L=7,821m 排水路 L=1,795m 農道 L=4,270m	3億4500万円	H13 H17	A	A	A	A	A	B	暗渠排水、用排水路、農道の整備により、事業効果が発揮されている。	用排水路等の再整備により、用水の安定供給や維持管理の軽減が図られ、事業の目的を達成している。	昭和40年代～50年代に圃場整備事業、構造改善事業により設置した用排水路が、30年以上経過して耐用年数を超過しつつある。今後もこれらの施設の機能を維持させていく取組が必要である。		
	54	県営中山間総合整備	駒ヶ根市	駒ヶ根電東	農業用排水路 L=1.1km 農道 L=5.5km 農業集落道 L=2.3km 農業集落排水 L=0.2km 農村公園 1箇所	14億4400万円	H10 H17	A	A	S	A	A	A	農業生産基盤の整備により、安定した用水の供給と農作業の省力化が図られた。また、定住環境の向上や、地域活性化にも貢献しており、事業の目的を達成している。	農業生産基盤整備による農作業の省力化や定住環境の向上が図られ、事業の目的を達成している。 また、事業目的以外で地域活性化の貢献度が高い。	条件に恵まれぬ中山間地域の農業農村を活性化させるためには、総合的な整備が不可欠である。このため、中山間地域における総合整備の取組みを継続的に実施していく必要がある。		